

HP Propel

Linuxオペレーティングシステム向け

ソフトウェアバージョン: 1.00

カタログヘルプ

ドキュメントリリース日: 2014年7月

ソフトウェアリリース日: 2014年7月



ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe®は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

UNIX®は、The Open Groupの登録商標です。

Adobe™は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

OpenStack® Word MarkおよびSquare O Designは、単独でも両方でも、OpenStack Foundationの米国およびその他の国における登録商標であり、OpenStack Foundationの許可を得て使用されています。

OracleおよびJavaは、Oracle Corporationおよびその関連会社の登録商標です。

RED HAT READY™ロゴとRED HAT CERTIFIED PARTNER™ロゴは、Red Hat, Incの商標です。

本製品には、'zlib' (汎用圧縮ライブラリ) のインタフェースが含まれています。'zlib': Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler.

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次のWebサイトから行なうことができます。<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

または、HP Passport のログインページの **[New users - please register]** リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。<http://www.hp.com/go/hpsoftwaresupport>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

http://h20230.www2.hp.com/new_access_levels.jsp

HP Software Solutions Nowは、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトのURLは<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>です。

このPDF版オンラインヘルプについて

本ドキュメントはPDF版のオンラインヘルプです。このPDFは、ヘルプ情報から複数のトピックを簡単に印刷したり、オンラインヘルプをPDF形式で閲覧できるようにするために提供されています。このコンテンツは本来、オンラインヘルプとしてWebブラウザで閲覧することを想定して作成されているため、トピックによっては正しいフォーマットで表示されない場合があります。また、インタラクティブトピックの一部はこのPDF版では提供されません。これらのトピックは、オンラインヘルプから正しく印刷することができます。

目次

目次	6
カタログ	6
概念	6
タスク	7
概要	7
概念	7
タスク	7
アクセス制御	7
概念	7
タスク	8
承認ポリシー	8
概念	8
タスク	10
ベストプラクティス	10
カテゴリ	11
概念	11
タスク	11
提供	11
概念	11
タスク	11

カタログ

概念

サービスカタログを作成および管理するには、Propel管理コンソールのカタログ領域を使用します。サービスカタログを使用することにより、サービス提供をマーケットプレイスポータルに発行できます。

カタログ領域の使用は、自動的に作成されたデフォルトのカタログ(グローバル共有カタログ)を構成することで始めることができます。また、新しいカタログを手動で作成して組織に関連付けることもできます。組織には、複数のカタログを関連付けることが可能です。

グローバル共有カタログの変更内容は、各組織のマーケットプレイスポータルで表示されます。グローバル共有カタログには**アクセス制御**と**承認ポリシー**はありません。また、削除およびインポートはできません。

タスク

カタログの**作成** - サービスカタログを関連付ける組織を選択し、名前、説明、画像を指定します。次に、次の領域で必要な情報を入力し、カタログを構成します。

- 「[アクセス制御](#)」(7ページ) (Global Shared Catalogを選択した場合は利用不可)
- 「[承認ポリシー](#)」(8ページ) (Global Shared Catalogを選択した場合は利用不可)
- 「[カテゴリ](#)」(11ページ)
- 「[提供](#)」(11ページ)

概要

概念

[概要] タブには、選択したカタログの詳細なサマリー (アクセス制御、デフォルト承認ポリシー、発行済み提供に関する情報など) が表示されます。

タスク

利用可能なタスク:

- **編集** - カatalogの名前、説明、画像を変更します。
- **削除**

アクセス制御

概念

アクセス制御 では、LDAPグループをカタログに割り当てます。サービスカタログの表示対象として、コンシューマー組織に所属するすべての認証済みユーザーまたはユーザーのサブセットを選択できます。

コンシューマー組織のすべての認証済みユーザーに対してカタログを表示するには、Propel管理コンソールの[組織]領域に追加されているLDAPグループを特定し、同じLDAPグループがすべてサービスカタログの[アクセス制御]領域に表示されるようにします。これを行わないと、エラーメッセージが表示されます。手動で作成したサービスカタログについては、この操作はカタログの作成時に自動的に行われます。組織で自動作成されたカタログについては、LDAPグループを手動で追加する必要があります。

タスク

利用可能なタスク:

- **グループの追加** - グループを追加する前に、LDAPグループをPropel管理コンソールの[組織]領域で構成する必要があります。[グループの追加]は、LDAPグループをカタログに追加することで、アクセス制御を管理するために使用します。既存の名前付きDNを選択するか、独自のグループ名または組織ユニットDNを入力し、グループまたは組織ユニットDNを入力します。
- **編集** - グループ名とグループDNの変更に使用します。
- **削除**

承認ポリシー

概念

[承認ポリシー]領域は、選択したカタログの承認ポリシーを管理するために使用します。このタブを使用できるのは、ユーザー定義のカタログ(Global Shared Catalogではない)の構成時のみです。

承認ポリシーは、3つのテンプレートタイプ(次の表を参照)のいずれかに基づいて作成されます。テンプレートはLDAPに依存するので、事前構成済みのテンプレートはありません。カタログを最初に作成する際、ユーザーコンテキストテンプレートから承認ポリシーが自動的に作成されます。

テンプレートタイプ:

テンプレートタイプ	説明
名前付き承認者テンプレート	<p>すべてのサブスクリプション要求を承認する承認者として、組織のユーザーを1人または複数割り当てます。また、サブスクリプション要求の実施に必要な承認の数も設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • このオプションを選択した場合、次の情報を入力してください。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 承認者の追加 - 承認者として追加するLDAPユーザー名を入力し、[承認者の追加]をクリックします。この手順で、任意の数の承認者を追加できます。 ■ 最小承認数 - サブスクリプション要求を実行するのに必要な承認の最小数を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 必要に応じて[自動承認]を選択し、次の内容を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自動承認/否認 - 次のいずれかの応答を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 承認済み - 指定された[自動承認の待ち時間 (日単位)]の期間が経過したときに、要求を自動的に承認します。 ○ 否認済み - 指定された[自動承認の待ち時間 (日単位)]の期間が経過したときに、要求を自動的に否認します。 ○ 自動承認の待ち時間 (日単位) - 応答がない状態でここで指定した日数が経過した場合、自動的に承認または否認します。
名前付きグループテンプレート	<p>LDAPグループに基づいて承認を行います。デフォルトでは、csa.propertiesファイルのcsa.group.numberOfApprovers=10という設定によって、承認用の指定グループとして選択できるグループのサイズが制限されています。これよりメンバーが多いグループを使用するには、この値を変更します。ただし、非常に人数の多い(何千ものメンバーがいる)グループを選択した場合、LDAPに関連する操作のパフォーマンスが低下するおそれがあります。また、指定グループの承認ポリシーを作成したときに指定した承認者の最小数が、グループのメンバー数よりも多い場合、承認者の最小数がグループの実際のメンバー数に暗黙に設定されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • このオプションを選択した場合、次の情報を入力してください。 <ul style="list-style-type: none"> ■ グループの追加 - 承認に使用するLDAPグループまたは組織ユニットのDNを選択または入力します。(要求の時点での)選択したグループのメンバーが、要求の承認者として設定されます。 ■ 最小承認数 - サブスクリプション要求を実行するのに必要な承認の最小数を選択します。 ■ 必要に応じて[自動承認]を選択し、次の内容を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 自動承認/否認 - 次のいずれかの応答を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 承認済み - 指定された[自動承認の待ち時間 (日単位)]の期間が経過したときに、要求を自動的に承認します。 ○ 否認済み - 指定された[自動承認の待ち時間 (日単位)]の期間が経過したときに、要求を自動的に否認します。 自動承認の待ち時間 (日単位) - 応答がない状態でここで指定した日数が経過した場合、自動的に承認または否認します。

テンプレートタイプ	説明
ユーザーコンテキストテンプレート	<p>このテンプレートを使用することで、クラウドサービス管理コンソールの組織領域での構成と同じLDAPメンバー設定と構造に基づいて承認を行うようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● このオプションを選択した場合、次の情報を入力してください。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 承認レベル- 要求の承認を求められる組織チェーン内のマネージャーの数を選択します。たとえば、2を選択した場合、サブスクライバーの第1レベルと第2レベルのマネージャーが要求を承認する必要があります。 ■ 必要に応じて[自動承認]を選択し、次の内容を入力します。 ■ 自動承認/否認 - 次のいずれかの応答を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 承認済み- 指定された[自動承認の待ち時間 (日単位)]の期間が経過したときに、要求を自動的に承認します。 ○ 否認済み- 指定された[自動承認の待ち時間 (日単位)]の期間が経過したときに、要求を自動的に否認します。 ■ 自動承認の待ち時間 (日単位) - 応答がない状態でここで指定した日数が経過した場合、自動的に承認または否認します。

タスク

利用可能なタスク:

- 既存の承認ポリシーの**編集** - **[承認ポリシーテンプレート]**以外のすべてのフィールドが編集可能です。
- ポリシーの**削除** - ユーザーが作成したポリシーを削除します (テンプレートそのものは削除されません)。
- ポリシーの**追加** - 名前を入力し、4つのテンプレートタイプのいずれかを選択してから、このポリシーを自動承認するかどうかをチェックボックスで選択します。
- **デフォルトポリシーの設定** - サービス提供の発行時に適用するデフォルトポリシー。

ベストプラクティス

承認ポリシーを作成する場合、サブスクリプション要求を承認するカタログへのアクセス権限がすべての承認者に割り当てられていることを確認してください。

カテゴリ

概念

カテゴリは、サービスカタログ内でサービス提供をグループ分けするのに使用されます。[カテゴリ] タブでは、選択したカタログ内のカテゴリを管理します。カテゴリのリストは、上下の矢印をクリックすることで、アルファベットの昇順または降順に並べ替えることができます。このビューには、各カテゴリに割り当てられた提供の数も表示されます。

タスク

利用可能なタスク:

- **カテゴリの追加** - 新しいカテゴリの名前を指定します。
- **編集** - 表示名を変更します。
- **削除** - サービス提供が割り当てられているカテゴリは削除できません。

提供

概念

[提供] タブでは、選択したカタログに発行済みのサービス提供、日付、カテゴリが表示されます。発行済みサービス提供は、マーケットプレイスポータル内で、割り当てられたカテゴリに表示されます。デフォルトでは、サービス提供はサービスカタログに設定されたデフォルトから承認プロセスと承認ポリシーを継承します。

タスク

利用可能なタスク:

- **発行解除** - カテゴリからサービス提供を削除します。
- **提供へのリンク** - カタログ内にある発行済み提供の名前をクリックすると、Propel管理コンソールの[提供] タイルが開き、[概要] タブにその提供が表示されます。

